



2020年7月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年6月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社稲葉製作所
 コード番号 3421 URL <http://www.inaba-ss.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 稲葉 明
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経理部長 (氏名) 武田 浩 TEL 03-3759-5181
 四半期報告書提出予定日 2020年6月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年7月期第3四半期の連結業績（2019年8月1日～2020年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年7月期第3四半期	25,830	1.1	1,329	△6.7	1,498	△12.0	913	△13.8
2019年7月期第3四半期	25,540	7.4	1,425	—	1,703	423.7	1,059	525.8

(注) 包括利益 2020年7月期第3四半期 847百万円 (△20.9%) 2019年7月期第3四半期 1,070百万円 (278.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年7月期第3四半期	51.98	—
2019年7月期第3四半期	60.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年7月期第3四半期	53,464	38,723	72.4
2019年7月期	53,314	38,334	71.9

(参考) 自己資本 2020年7月期第3四半期 38,723百万円 2019年7月期 38,334百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年7月期	—	13.00	—	13.00	26.00
2020年7月期	—	13.00	—	—	—
2020年7月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年7月期の連結業績予想（2019年8月1日～2020年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,700	1.9	1,850	4.1	2,120	0.1	1,330	25.4	75.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年7月期3Q	17,922,429株	2019年7月期	17,922,429株
② 期末自己株式数	2020年7月期3Q	358,536株	2019年7月期	358,506株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年7月期3Q	17,563,903株	2019年7月期3Q	17,562,188株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	増減率(%)
売上高	25,540	25,830	1.1
営業利益	1,425	1,329	△6.7
経常利益	1,703	1,498	△12.0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,059	913	△13.8

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、雇用・所得環境の改善が継続したものの、外需の伸び悩みから製造業の生産活動が落ち込み、景気の回復は緩やかなものとなりました。2020年に入り、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の世界的な蔓延により経済活動の停滞などが引き起こされ、収束時期の見通しが立たない状況が続いたことから、実体経済への影響拡大が懸念されております。

当社グループの事業環境について概観いたしますと、鋼製物置市場では、持家・分譲一戸建住宅の新設着工戸数が弱含みで推移しておりますが、消費増税前の駆け込み需要もあり、需要は堅調に推移しました。オフィス家具市場では、大規模オフィスビルの安定的な供給を背景にオフィスの移転需要及びリニューアル需要は堅調に推移しましたが、メーカー間の価格競争は激化しており、厳しい状況が続きました。

当第3四半期連結累計期間における主要材料の平均鋼材価格は、引き続き高止まりで推移しました。

このような事業環境のなか、当社グループは、製造コストの低減及び品質・生産性向上への取組みに加え、代理店様・販売店様とのリレーション強化、物流拠点と販売拠点との連帯強化や製品の強みを活かした提案営業の拡大などにより、各事業分野での業績拡大に努めてまいりました。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大や緊急事態宣言発令の影響は、当第3四半期連結会計期間において軽微であります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は25,830百万円(前年同期比1.1%増)、営業利益は1,329百万円(前年同期比6.7%減)を計上いたしました。なお、前年同期に富岡工場建設に係る助成金収入を営業外収益に計上していたことによる反動減、スクラップ市況の低迷による作業くず売却益の減少などにより、経常利益は1,498百万円(前年同期比12.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は913百万円(前年同期比13.8%減)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益(百万円)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
鋼製物置	16,828	17,305	476	2,155	1,962	△192
オフィス家具	8,712	8,526	△186	12	128	116
合計	25,540	25,831	290	2,167	2,090	△76

(鋼製物置事業)

鋼製物置事業については、消費増税前の駆け込み需要の増加もあり、ガレージ・倉庫の大型製品の出荷数が増加し、売上高は前年同期に比べ増収となりました。利益につきましては、材料費の上昇、荷造運送費や減価償却費の増加により利益率が低下し、前年同期に比べ減益となりました。

当事業の売上高は17,305百万円(前年同期比2.8%増)、セグメント利益は1,962百万円(前年同期比8.9%減)を計上いたしました。

(オフィス家具事業)

オフィス家具事業については、引き続きオフィスでの働き方改革や健康への関心の高まりに対応した新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開いたしました。売上高は前年同期に比べ減収となりました。利益につきましては、前連結会計年度後半に実施した価格改定の影響を受けて粗利益が増加し、販売力強化の為に人件費増加による販管費の増加を吸収できたことから、前年同期に比べ増益となりました。

当事業の売上高は8,526百万円(前年同期比2.1%減)、セグメント利益は128百万円(前年同期比935.9%増)を計上いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末 (百万円)	当第3四半期連結会計期間末 (百万円)	増減(百万円)
流動資産	28,227	27,291	△935
固定資産	25,087	26,172	1,085
総資産	53,314	53,464	149
流動負債	12,152	11,891	△260
固定負債	2,827	2,848	21
負債合計	14,979	14,740	△239
純資産	38,334	38,723	389

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、27,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ935百万円減少いたしました。主な減少要因は、配当支払、納税、有価証券及び不動産取得等による現金及び預金の減少であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、26,172百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,085百万円増加いたしました。主な増加要因は、配送センター移転用地等の取得による土地の増加、有形固定資産のその他(純額)に含まれる新静岡配送センターの建築及び犬山工場の生産ライン再構築による建設仮勘定の増加、投資その他の資産のその他に含まれる債券の取得等による投資有価証券の増加であります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、53,464百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円増加いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、11,891百万円となり、前連結会計年度末に比べ260百万円減少いたしました。主な減少要因は、納税による未払法人税等の減少及びその他に含まれる未払金の減少であります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、2,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。主な増加要因は、役員株式給付引当金の増加、その他に含まれる資産除去債務の増加であります。

その結果、当第3四半期連結会計期間末における負債は、14,740百万円となり、前連結会計年度末に比べ239百万円減少いたしました。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、38,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ389百万円増加いたしました。主な増加要因は、事業活動における利益獲得等における利益剰余金の増加であります。一方、主な減少要因は、配当支払による利益剰余金の減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月25日に新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言が全国で解除されましたが、今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況やその経済環境への影響が変化した場合には、当社グループを取り巻く市場環境は厳しさを増す可能性があります。

2020年7月期の連結業績予想は、当第3四半期連結会計期間における新型コロナウイルスの影響が軽微であったこと及び今後の業績見通しを勘案し、2019年9月12日に公表しました業績予想を据え置くことといたしました。なお、当業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があり得ることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,658,466	14,466,857
受取手形及び売掛金	6,097,977	6,619,430
電子記録債権	1,922,842	1,944,391
有価証券	500,100	1,000,005
商品及び製品	2,260,705	2,287,455
仕掛品	201,325	271,421
原材料及び貯蔵品	311,428	400,015
その他	284,379	312,612
貸倒引当金	△9,955	△10,354
流動資産合計	28,227,269	27,291,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,970,793	6,821,211
機械装置及び運搬具(純額)	3,238,148	2,997,415
土地	11,121,385	11,525,117
その他(純額)	231,536	1,076,173
有形固定資産合計	21,561,863	22,419,917
無形固定資産	425,881	333,793
投資その他の資産		
その他	3,100,377	3,418,779
貸倒引当金	△848	△0
投資その他の資産合計	3,099,529	3,418,779
固定資産合計	25,087,273	26,172,490
資産合計	53,314,543	53,464,326
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,049,605	4,380,800
電子記録債務	4,118,894	3,922,543
未払法人税等	682,572	229,309
賞与引当金	309,208	629,377
その他	2,992,324	2,729,677
流動負債合計	12,152,606	11,891,707
固定負債		
役員退職慰労引当金	1,966	8,911
役員株式給付引当金	63,785	97,718
退職給付に係る負債	1,430,515	1,377,183
その他	1,330,976	1,364,975
固定負債合計	2,827,243	2,848,789
負債合計	14,979,850	14,740,497

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,132,048	1,132,048
資本剰余金	1,013,770	1,016,874
利益剰余金	36,376,894	36,832,008
自己株式	△331,745	△334,892
株主資本合計	38,190,967	38,646,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,741	102,223
退職給付に係る調整累計額	△41,016	△24,433
その他の包括利益累計額合計	143,724	77,789
純資産合計	38,334,692	38,723,828
負債純資産合計	53,314,543	53,464,326

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
売上高	25,540,838	25,830,908
売上原価	18,319,697	18,514,739
売上総利益	7,221,140	7,316,169
販売費及び一般管理費	5,795,695	5,986,325
営業利益	1,425,444	1,329,843
営業外収益		
受取利息	3,797	4,123
受取配当金	5,448	4,225
作業くず売却益	95,699	60,619
電力販売収益	80,221	75,170
雑収入	125,344	54,802
営業外収益合計	310,510	198,940
営業外費用		
支払利息	69	160
電力販売費用	31,514	28,904
雑損失	394	765
営業外費用合計	31,978	29,830
経常利益	1,703,977	1,498,953
特別利益		
固定資産売却益	4,321	2,338
特別利益合計	4,321	2,338
特別損失		
固定資産除却損	5,724	50,256
減損損失	109,987	33,213
その他	6,322	—
特別損失合計	122,034	83,469
税金等調整前四半期純利益	1,586,263	1,417,822
法人税、住民税及び事業税	729,790	592,104
法人税等調整額	△203,000	△87,326
法人税等合計	526,789	504,777
四半期純利益	1,059,474	913,044
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,059,474	913,044

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益	1,059,474	913,044
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,189	△82,518
退職給付に係る調整額	46,645	16,583
その他の包括利益合計	11,455	△65,935
四半期包括利益	1,070,930	847,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,070,930	847,109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年8月1日至2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,828,415	8,712,423	25,540,838	—	25,540,838
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	16,828,415	8,712,423	25,540,838	—	25,540,838
セグメント利益	2,155,268	12,401	2,167,670	△742,225	1,425,444

(注) 1. セグメント利益の調整額△742,225千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては108,479千円であります。

各報告セグメントに配分していない全社資産において、遊休資産等に区分される土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において1,508千円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自2019年8月1日至2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	鋼製物置	オフィス家具	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,305,256	8,525,651	25,830,908	—	25,830,908
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	359	359	△359	—
計	17,305,256	8,526,011	25,831,268	△359	25,830,908
セグメント利益	1,962,429	128,467	2,090,897	△761,054	1,329,843

(注) 1. 調整額の内容は以下のとおりであります。

- (1) セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額△359千円は、セグメント間取引消去であります。
 - (2) セグメント利益の調整額△761,054千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鋼製物置」セグメント及び「オフィス家具」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「鋼製物置」セグメント5,841千円及び「オフィス家具」セグメント27,372千円であります。